

江里山を語ろう

だんだんだより



“だんだん”になった田んぼが広がる
みなさんのふるさと“江里山”について
少しお話しませんか

これまでの江里山について
これからの江里山について
“団らん”しながら色々教えてください

そのきっかけづくりとして
みなさんとのコミュニケーション誌
「だんだんだより」を発行しました

みなさんと一つ（団）になって
江里山のことを考えていきたいので
よろしくお願いします

江里山を語ろう

だんだんだより

2022. | 発行



江里山の棚田米は
全国で食べられています

天山山系の湧き水で育てられた「江里山の棚田米」は、小城市ふるさと納税の返礼品として、全国に届けられています。お米は、安全安心の特別栽培米です。



小城市ふるさと納税について
(小城市ホームページ)



発行
棚田げんきスタッフ
(小城市地域おこし協力隊)



棚田ボランティアに関する協定が締結されました

2021年12月16日(木)に、小城市役所で、株式会社大義建設さま（小城市）と江里山の棚田との間で、棚田ボランティアに関する協定が締結されました。



協定期間

2021年12月16日～2025年3月31日

主な活動内容

- ・草刈り作業の支援
- ・イベントにおける地域農産物の販売促進及び販売支援
- ・ワイヤーメッシュの補修作業等の支援
- ・箱罟設置等の支援

げんきの種まき

(棚田げんきスタッフ活動報告)

2021.12

佐賀大学の学生さんによる彼岸花の密度調査を見学させていただきました。卒業論文の一環で行われているとのことですが、これから約2年かけて調査し、彼岸花の里づくり等に役立てたいとおっしゃっていました。



今後、佐賀大学の学生さんが、時々、畦の彼岸花調査に来られますので、よろしくお祈りします。

2021.12.5

たなだ部のみなさんと一緒に、玉ねぎの植え付けと干し柿作りを行いました。玉ねぎは来年5月頃に収穫予定とのこと、今から楽しみです。



江里山の空に想う

あがんしたか / こがんしたか

江里山のこれからを考えるヒントになる(かもしれない)情報やアイデアをお届けします。

2021年11月26日(金)に小城市役所で棚田を活かす研修会(佐賀県主催)が開かれ、県内の棚田関係者約30名が参加しました。「今後の棚田地域の課題解決について」をテーマに、グループごとにワークショップを行なったところ、様々な意見やアイデアが出ていましたので、今回は、その一部をご紹介します。

鳥獣被害を低減するためのアイデア

鳥獣を捕獲する

- ・狩猟
- ・狩猟者の育成
- ・箱罟設置

鳥獣と共存する

- ・荒地や耕作放棄地を減らし共存の道を探る
- ・棲み分け

鳥獣から守る

- ・ワイヤーメッシュや電気柵の設置
- ・鳥獣対策に有効と思われる資材の活用
ピンク色テープ

※“ピンク色”や“テープが風などで揺れる音”を鳥獣が嫌がるそうです
竹チップ
※イノシシは爪と爪の間が柔らかく、そこに竹チップが刺さることを嫌がるそうです
不透明なビニールシート
※視界を遮る(=餌を見えなくする)ことで鳥獣が近寄らなくなる狙いで

江里山でも数カ所で試行中!



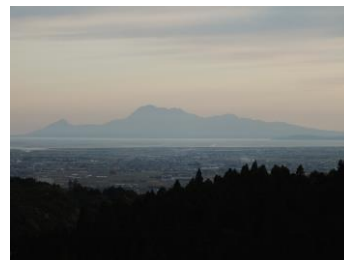
ワークショップでは、5WIHに基づき、課題の整理(いつ・どこで・誰が・何を・なぜ)と課題解決方法(どのように)の検討を行いました

江里山画廊

活動中に印象に残ったものを“江里山で出会った一枚”としてご紹介します。

江里山で出会った
今月の一枚

▶▶ 江里山から見えた
有明海



【コメント】

雲仙が見えることは、江里山のみなさんから聞いていましたが、有明海の海苔の養殖まで見るとは、驚きました。江里山は色々な景色が楽しめる場所ですね。